

予想外 ラグジュアリー

Mr.
Diko Sulahian

Giovanna: INTO THE WILD

ジオバンナ・ホイールを展開するWTW Corpが2015年に展開する型破りのチャレンジ。止まることを知らない男の歩みは、オンロードには飽き足らずオフロードにも足跡を刻もうとしている。アメリカ発・高級ブランドが繰る新章。

Words & Photos 林 剛典

[Source]
T20
Tel. 042-680-0268
www.giovannewheels.co.jp

のが、4WD用のホイールです。ココカチュールに新たなライン、KOKO SOLID (ココソリッド) を設け、シリーズに先駆けて3つのデザインをラインナップしました

これまではラグジュアリーカーとスーパーカーにフォーカスを絞り、高級ホイールの代名詞とされてきた同社のホイールたち。1セットで中古車が、GFGなどのフォードラインなら小型車が新車で買えると言われる高価格帯が、世の憧れと共にステータスでもある。そのシリーズの4駆用とはいかなるものか。確かに近年、ラグジュアリーホイール・ブランドが軒並みオフロード専用をリリースしているのは事実だ。Forgiato (フォージアト) などは現在9デザインを展示している。いずれも大口径×鍛造で高価なものだ。

ディコ氏「その逆です。私たちがお届けするのは20インチと22インチの、ごく一般的なモデル、例えばJEEPラングラーやフォードF150、シボレー・シルバードなどを対象としたリーズナブルな製品なのです。ココソリッドのターゲットは広い一般ユーザー層です。今までは一部の限られた人々だけしか手にすることのできなかったシリーズが、4WDオーナーだけは手軽に履ける特権を持つのです。

もちろんジオバンナの血統を受け継いだデザインには絶対の自信を持っていますよ。オフロードホイールのタフさの中に優美な繊細さを加え、強度を確保したインパクトのあるスポーク形状が最大の魅力です。フィニッシュはそれぞれにベーシックな4種類を用意していますが、カスタムペイントなどのオリジナルフィニッシュもオーダー可能。オンリーワンが楽しめます」

日本での本格的なリリースは春を予定している。より身近になったジオバンナ・ファミリーの存在に、カスタムカー・マーケットはより一層の盛り上がりを見せそうだ。



'00年代初頭から現代に続く大径ラグジュアリー・ホイールのムーブメントは、このブランドに端を発したといっても過言ではないだろう。「Giovanna (ジオバンナ)」、アメリカを代表するビッグネームの筆頭だ。現在では姉妹ブランドにGianelle (ジェネリー)、KOKO Kulture (ココカチュール)、GFG(ジーエフジー)を展開し、世界中のラグジュアリーカーやスーパーカーに向けて、純正を上回る上質とエレガントを提供している。

そのヘッドクォーターであるWTW CorporationのCEOこそがディコ・スラアン。アメリカンカスタム界の重鎮であり、革新と斬新を追求して止まないホイール界きっての希代の頭脳である。

時代の変化、流行の移り変わりに適応し、今なおWTWの各ブランドがマーケットで存在感を鮮明にする背景には、ディコ

氏の比類なき探究心によるところが大きい。具体例を挙げるならば、どんな高額車両でも可能な限り自ら購入するこだわりである。そうすれば足まわりの寸法を厳密に測定、ミリ単位でマッチするホイールが製作可能だし、ストリートやハイウェイ、クローズドコースなどで製品の実走テストが繰り返せるからだ。独創的なデザインのみならず、品質と強度がWTWのジオバンナ・ファミリーを支えてきた所以なのだ。だからフェラーリ、ランボルギーニ、ベントレー、メルセデスは言うに及ばず、ボルシェ918スパイダーやマクラーレンP1といった限られたモデルも世界に先駆けて入手、惜しげもなくホイール開発のテスト車両に起用するのである。

こうしたハイエンド志向の強いジオバンナ・ファミリーのひとつ「ココカチュール」が今年、かつてない展開を開始する。ディコ氏「2015年から大きく力を入れる



KOKO SOLID FORCE

2015年のスタートと共に新展開となったジオバンナ・ファミリーのニューブランドKOKO Solid (ココソリッド) は、シリーズ初のオフロード専用ホイール。写真のFORCE (フォース) の他にARMOR (アーマー) とSTORM (ストーム) の合計3デザインをラインナップする。いずれも「タフ」、「スポーティ」、「エレガント」の3要素をミックスし、ゴツイイメージの従来の4WDホイールとは一線を画すデザインが特徴。サイズは20×9J、20×10J、22×10Jの3種類で、多彩なフィニッシュを用意。写真の右側はブラック・ウィズ・ボールカット・ディティール仕上げ。左側がマシンド・ブラック仕上げ。

オレンジカウンティにショールームをオープン

拡大の一途を辿るWTWコーポレーション。これまではサンタフェスプリングスに本社オフィスと広大なウェアハウスを構えていたが、オレンジカウンティのコスタメサに新たなショールームをオープンした。ニューポートビーチやラプナビーチといった超高級住宅街に暮らす「本物」のセレブリティを招き入れる。そこにはボルシェ918スパイダー、マクラーレンP1、ランボルギーニ・ウラカン、フェラーリ458イタリア、ボルシェ911GT3などの高級車がズラリ。壁にはGFGブランドを中心としたフォージアト(鍛造)ホイールの新作が並べられ、様々なカラーバリエーションや質感を目にし、手に触れることができる。2階はオフィス&ミーティングルームに併設して高級スペースもあり、特にディコ社長が直接接客する幸運に恵まれることもある。

